

海外安全対策情報（2019年7月～9月）

在スペイン日本国大使館

1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) スペインでの犯罪発生状況（2018年）

スペイン内務省統計によれば、2018年の一般犯罪件数は、2,131,424件となっている。

強盗・脅迫、窃盗（侵入窃盗、車両窃盗）等は減少傾向にあるものの、依然として高い水準で推移している。

主な犯罪種別の内訳は以下のとおり。

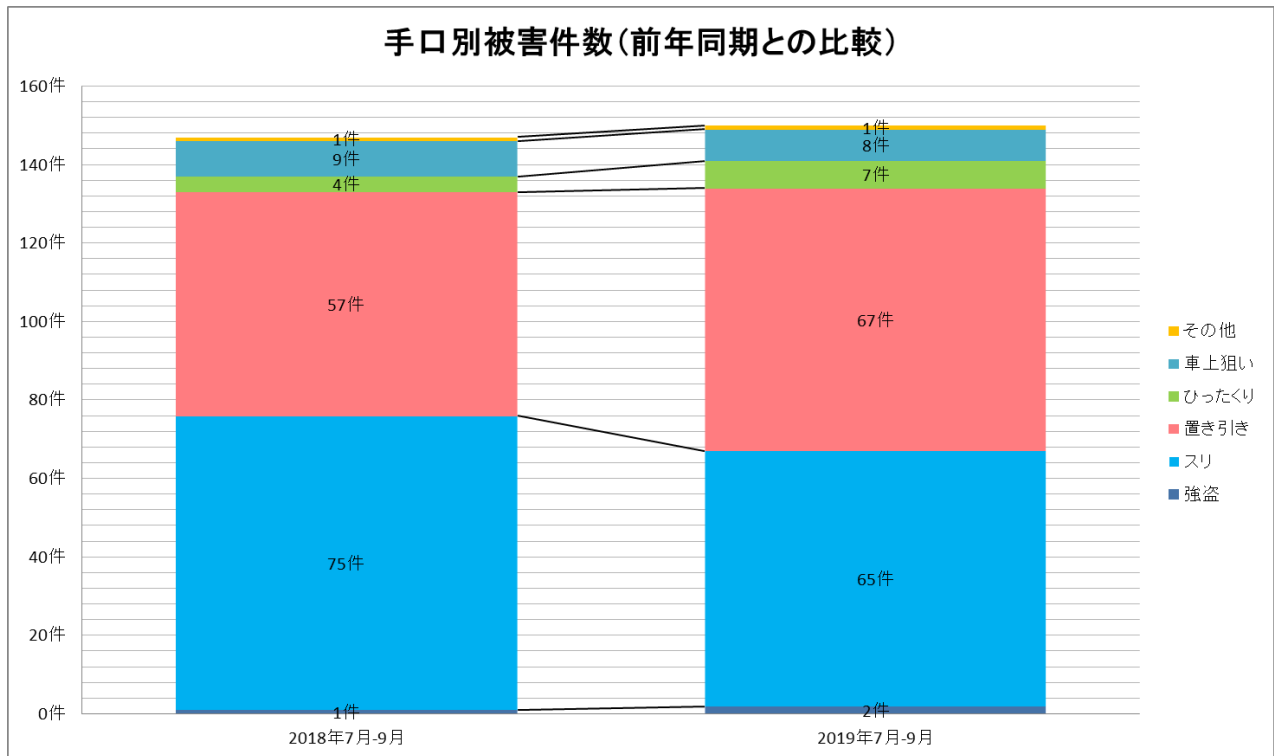
殺人	強盗・脅迫	傷害	窃盗 (すり・置き引き等)	窃盗 (侵入窃盗)	窃盗 (車両窃盗)	薬物犯罪
289件	60,677件	18,252件	705,249件	107,012件	36,152件	14,125件

(2) 邦人被害発生状況（7月～9月）

当館及びバルセロナ総領事館が認知したスペイン国内での今期邦人犯罪被害件数は150件で、前年同期147件に比し増加している。

被害内訳は、引き続き、すり（65件）及び置き引き（67件）が大部分を占めている。

なお、前年同期比で、すりは減少が見られるものの、置き引き、強盗などの他の犯罪についてはわずかながらも増加しており、引き続き注意が必要。



(3) 邦人被害事案

- ・レストランで食事中に窓をたたかれ、そちらに意識がそれた隙に、椅子に置いてあった鞆ごと盗まれた。
- ・在留邦人が家から出る際に、オートバイに乗った男性 2 人組に道を聞かれ、振り向くと金品を要求され、驚いてもたついていると、鞆ごとひったくられた。
- ・空港内のカフェで休憩していたところ、横の座席に置いていた鞆がなくなっていた。
- ・レンタカーに荷物を入れていると、見知らぬ男性から声をかけられ、相手をしていた隙にレンタカーごと盗まれた。
- ・アトーチャ駅で鉄道チケットを購入している際に、カウンターの担当者と話している隙に足元に置いていた鞆を盗まれた。
- ・ホテルでのチェックイン手続き中、あるいはレストラン等での飲食中に、足下や座席に置いた鞆を置き引きされた。(多数)
- ・交通機関での移動中や、買い物中等に気付かない間に鞆から貴重品類を抜き取られた。(多数)

2 テロ・爆弾事件発生状況

2004年にマドリードで同時多発列車爆破テロ事件が、2017年8月にバルセロナ等で車両による通行人襲撃事件が発生している。これらの事件以外にも、テロ計画が準備段階で摘発される、紛争地域向け戦闘員の勧誘や派遣が摘発される等、依然として国内での活動が確認されている。

スペイン内務省は、テロ警戒のレベルを「4(高い脅威)」(全5段階)と評価しており、スペイン治安当局によるテロ警戒及び治安強化が継続されている。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

当館及びバルセロナ総領事館として、邦人被害事件は認知していない。

4 日本企業の安全に関する諸問題

当館及びバルセロナ総領事館として、認知している問題はない。